オートバックス通信 vol.27

第62期　事業報告書　2008年4月1日から2009年3月31日まで

1　TOPメッセージ
3　特集 2009年3月期決算
7　ニュースリリース
8　オートバックスグループ新店紹介
9　知らなきゃ損!
　オートバックスお役立ちピットメニュー紹介
11　カー用品調査団―ポータブルナビゲーション
13　会社情報
14　株式情報

クルマのことならオートバックス

AUTOBACS SEVEN

TOPメッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

オートバックスセブンの第62期事業報告を兼ねる株主通信「オートバックス通信」vol.27をお届けします。今号より、オートバックスグループのさまざまな側面を株主の皆様に分かりやすくご紹介し、もっとオートバックスのファンになっていただきたいという願いを込めて、タイトルを変更いたしました。今後、より一層誌面が充実するよう努力してまいりますので、ご期待ください。

第62期（2009年3月期）の連結業績報告

当期の事業環境は景気低迷の深刻化や春から秋口までのガソリン価格高騰により自動車関連支出が抑えられる動きが強まったこと、太平洋側において例年に比べて降雪が少なく冬季商品の需要が伸びなかったことなど、全体として厳しい環境でしたが、政府の追加経済対策である高速道路料金値下げの決定とETC車載器の購入助成金付与が実施されたことにより、年度末にかけてETC車載器の需要が増加しました。

このような環境のもと、当社グループでは、経営効率の向上とコーポレート・ガバナンスの強化を目指して中期経営計画を策定し、これに沿った施策を実行しております。そして、中期経営計画の方針の一つである「国内オートバックスFC事業の強化」に基づき、「クルマのことならオートバックス」という認知を得るべく、引き続き「カー用品販売」、「車検・整備」、「車販売・買取」を3本柱とする事業展開を推し進める一方で、海外事業については再評価作業を進め、それに基づく事業の方向性を随時決定し、実行してまいりました。

この結果、当社グループの連結売上高は、前年同期比72億85百万円(2.7%)減少の2,591億44百万円となりました。商品別に見ますと、販売に注力したタイヤ、サービス(車検・整備を含む)、単価が上昇したオイル・バッテリー、さらにポータブルナビゲーション、ETC車載器などの売上が増加したものの、タイヤチェーン、カーオーディオ、ホイール、カースポーツ用品などの売上が減少しました。

売上総利益は、現在注力している車検・整備を含むサービスの売上が上昇したものの、全体的な売上高の減少と主にタイヤ・ホイールなどの粗利率の低下により、前年同期比16億58百万円(2.0%)減少の811億93百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、中期経営計画の方針に沿って経費の削減に努めましたが、国内外の店舗増加にともなう経費、タイヤ販売における広告宣伝費、平成20年3月期から導入を開始したPOSシステム関連費用、中期経営計画推進のための費用の増加などにより前年同期比1億87百万円(0.2%)増加の761億3百万円となりました。

これらの結果、営業利益は前年同期比18億46百万円(26.6%)減少の50億90百万円となりました。経常利益は、営業外費用として主に海外子会社への融資から発生した為替差損8億60百万円、証券化商品の評価額低下による投資有価証券評価損を13億34百万円計上いたしましたが、投資有価証券評価損が前年に比べ減少したことなどにより、前年同期比4億94百万円(8.2%)増加の65億56百万円となりました。

これに加え、主にフランチャイジーに対する建物等のリース取引に関わる会計基準の変更にともなう特別利益48億23百万円を計上いたしました。また、将来の収益改善を目的に推進している中期経営計画の各施策の実施により153億18百万円を特別損失として計上いたしました。その主なものは、米国事業撤退等にともなう事業再構築費用49億26百万円、

固定資産の減損損失52億89百万円(フランス法人ののれん等の減損を含む)、投資有価証券の評価損・売却損39億93百万円などであります。これらの結果、当期純損失は33億97百万円となりました。

当期・次期の配当について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けております。2011年3月期を最終年度とする中期経営計画における利益配分の考え方は、事業継続に必要な手元流動性を確保しつつ、連結自己資本配当率(DOE)3%を目標に業績の状況及び財務の安定性を勘案しながら、安定的かつ継続的な配当と機動的な自己株式の取得を行っていくことを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、予定通り1株当たり50円とし、中間配当50円と合わせて年間で100円の配当といたしました。この結果、連結自己資本配当率は2.4%となります。

次期につきましては、中間・期末とも1株当たり50円とし、年間配当100円を継続実施する予定です。また、5月18日以降、1,600,000株、56億円を上限に自社株買いを行うことといたしました。さらに、現在保有する自己株式(金庫株)1,800,971株、79億74百万円を5月22日をもって消却いたしました。

次期の見通し

次期の経営環境の見通しにつきましては、個人消費の冷え込みの継続と新車販売台数の減少といった逆風が予想されるものの、高速道路料金の値下げやガソリン価格の安定がもたらす自動車利用の増加により、メンテナンス関連需要などが増加することも予想され、当社グループの売上に対しては、増加、減少の両面の影響が考えられます。

このような環境のなか、「クルマのことならオートバックス」と

いうスローガンのもと、①カー用品販売のさらなる強化による店舗競争力の強化、②車検・整備を軸としたお客様との関係強化によるメンテナンス関連商品の販売強化、③経営資源の最適配置を行うことによる生産性の向上など、収益の向上、マーケットシェアの拡大を主な戦略といたします。

このような施策と前連結会計年度に実施した不採算事業からの撤退、さらにコスト削減など中期経営計画の施策効果などにより、通期の連結業績につきましては、連結売上高で298億44百万円減少の2,293億円、営業利益は39億9百万円増加の90億円、経常利益は34億43百万円増加の100億円、当期純利益で90億97百万円増加の57億円と減収増益を予想しております。今後も「クルマのことならオートバックス」というスローガンのもと、経営効率の向上とコーポレート・ガバナンスの強化を目指して、中期経営計画に沿った施策を実行し、企業価値向上に努めてまいります。株主の皆様には今後ともご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2009年6月

代表取締役　社長執行役員

湧田節夫

特　集

2009年3月期決算

当期は事業環境の変化により収益が悪化したことに加え、中期経営計画の実施により特別損失を計上いたしました。しかしながら、採算性の低い事業からの撤退などにより次期以降の改善に目処をたてることができました。

連結損益計算書及び財務指標

単位:百万円

	第61期（自2007年4月 1 日 至2008年3月31日）	第62期（自2008年4月 1 日 至2009年3月31日）	増減
売上高	266,429	**259,144**	△7,285
卸売部門	145,072	**140,741**	△4,331
小売部門	117,182	**114,600**	△2,582
その他	4,174	**3,802**	△371
売上原価	183,577	**177,950**	△5,626
販売費及び一般管理費	75,915	**76,103**	187
営業利益	6,936	**5,090**	△1,846
営業外収益	6,221	**7,344**	1,122
営業外費用	7,096	**5,878**	△1,218
経常利益	6,062	**6,556**	494
特別利益	186	**4,823**	4,637
特別損失	1,276	**15,318**	14,041
税金等調整前当期純利益･損失（△）	4,972	**△3,937**	△8,910
法人税等合計	3,434	**△537**	△3,971
少数株主利益･損失（△）	70	**△3**	△73
当期純利益･損失（△）	1,467	**△3,397**	△4,864

自己資本当期純利益率（ROE）	0.9%	**△2.1%**	
総資産当期純利益率（ROA）	0.6%	**△1.5%**	
自己資本比率	70.2%	**69.0%**	
1株当たり当期純利益	38円37銭	**△90円29銭**	
1株当たり年間配当金	100.00円	**100.00円**	
配当性向	260.6%	**—**	

主な増減項目とその要因

売上高 73億円減少

卸売部門: 厳しい事業環境が影響して、国内FCに対するカー用品売上が減少しました。

小売部門: 卸売部門同様、直営･子会社店舗における国内カー用品販売が減少しました。
為替変動の影響を受け海外売上高が減少しました。
中期経営計画の実施にともなう事業の営業譲渡や閉店などによる売上の減少も加わりました。

販売費及び一般管理費 2億円増加

- タイヤ販売に注力し、キャンペーン広告費が増加しました。
- 店舗システム刷新にともなう費用が増加しました。
- 国内外における店舗数の増加により、経費が増加しました。

しかし、全社的に管理可能なあらゆる経費の削減に努めた結果、増加幅を最低限に抑えることができました。

営業外費用 12億円減少

前期(2008年3月期)に計上した証券化商品などの投資有価証券評価損が当期は減少しました。

特別利益 46億円増加

リース会計基準の適用にともない、当社が保有する建物･構築物のFC法人に対する賃貸料の売上原価の計上方法が変更となり、過去計上した売上原価の一部を特別利益として計上いたしました。

特別損失 140億円増加

中期経営計画の施策実施による事業再構築費用など153億円を計上しました。主な項目は以下の通りです。

- 事業ポートフォリオの整理(アメリカ子会社、台湾子会社など)
- 非コア資産の処分(英国ハルフォーズ社株式など)
- 店舗の統廃合、固定資産減損、店舗の譲渡
- のれん等の減損(フランス子会社)
- 特別退職金の支給

連結貸借対照表

単位:百万円

	第61期 (2008年3月31日現在)	第62期 (2009年3月31日現在)	増減
(資産の部)			
流動資産	117,406	**136,968**	19,561
固定資産	116,719	**87,199**	△29,519
有形固定資産	53,767	**40,992**	△12,774
無形固定資産	16,425	**10,830**	△5,595
投資その他の資産	46,526	**35,376**	△11,149
資産合計	234,126	**224,168**	△9,958

	第61期 (2008年3月31日現在)	第62期 (2009年3月31日現在)	増減
(負債の部)			
流動負債	43,570	**44,842**	1,271
固定負債	25,350	**23,847**	△1,503
負債合計	68,921	**68,689**	△231
(純資産の部)			
株主資本	165,217	**154,807**	△10,410
評価・換算差額等	△882	**△44**	837
少数株主持分	869	**715**	△154
純資産合計	165,205	**155,478**	△9,726
負債・純資産合計	234,126	**224,168**	△9,958

連結貸借対照表の総括

当社は中期経営計画において、資産効率の向上を目標の一つに掲げています。

当期は、財務安定性を維持しつつ、非コア資産の売却等を進め、さらに、自社株買いの実施、配当金の維持を行いました。この結果、総資産を100億円圧縮いたしました。

資産の部

受取手形及び売掛金の増加 ……+43億円

主に子会社のローン事業拡大にともなうものです。

リース投資資産 ……+162億円

リース会計基準の適用にともない、固定資産から流動資産に振替え

のれん ……▲38億円

フランス子会社で収益計画を再度見直したことによる

投資有価証券 ……▲108億円

株式、証券化商品の売却などによる

負債・純資産の部

事業再構築引当金の計上 ……+48億円

長期借入金の減少 ……▲24億円

利益剰余金の減少

配当金の支払い、当期純損失計上 ……▲79億円

自己株式の増加 ……▲24億円

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	第61期 (自2007年4月 1 日 至2008年3月31日)	**第62期 (自2008年4月 1 日 至2009年3月31日)**	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△645	**7,027**	7,673
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,993	**4,542**	12,535
財務活動によるキャッシュ・フロー	△728	**△9,258**	△8,529
現金及び現金同等物に係る換算差額	△221	**△200**	20
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△9,589	**2,111**	11,700
現金及び現金同等物の期首残高	59,226	**49,637**	△9,589
現金及び現金同等物の期末残高	49,637	**51,748**	2,111

連結キャッシュ・フローの総括

当期は、当期純損失を計上したものの、現金の動きと関係のない減損損失や事業再構築費用の計上に加え、投資有価証券の売却及び償還などにより、期末の現金及び現金同等物の残高を減らさずに設備投資や株主還元を実施いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

本業における資金の創出を示す営業活動によるキャッシュ・フローは、主に減少項目として、リース会計基準の適用にともなう影響額46億51百万円及び税金等調整前純損失39億37百万円の計上があった一方で、増加項目として、減価償却費59億84百万円及び減損損失52億89百万円の計上、事業再構築引当金の増加47億82百万円などがあり、70億27百万円の資金の獲得となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

設備投資や資金運用の結果を示す投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形及び無形固定資産の取得による支出48億69百万円があった一方で、投資有価証券の売却及び償還による収入80億58百万円などがあり、45億42百万円の資金の獲得となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

資金調達、配当、自社株買いなどの結果を示す財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額45億47百万円、自己株式取得による支出24億57百万円などがあり、92億58百万円の資金の支出となりました。

ニュースリリース

1月

- 平成21年3月期 第3四半期の投資有価証券売却損及び評価損に関するお知らせ
- 希望退職者募集に関するお知らせ
- 子会社の解散及び清算に関するお知らせ

2月

- 在米連結子会社の倒産手続適用申請及び債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ
- 業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ
- 店舗譲渡及び子会社合併、子会社の解散及び清算に関するお知らせ
- 子会社の株式譲渡に関するお知らせ
- 子会社の株式譲渡に関するお知らせ
- 子会社の合併に関するお知らせ
- 希望退職者募集の結果に関するお知らせ
- 店舗譲渡に関するお知らせ
- 組織変更と人事異動のお知らせ
- オートバックス プライベートブランド商品「カージョキン発売15周年感謝企画」開催～“ニンテンドーDSi”等があたるクローズドキャンペーン及び お得なセット販売の実施～
- 「2009 SUPER GT SERIES」に特別協賛～自動車関連マーケットの活性化を目指す～

3月

- 「オートバックス東戸塚(神奈川県横浜市)」改装新築オープン～神奈川県内オートバックスグループ店舗37店舗～
- 国内で77店舗目、香川県内初のスーパーオートバックス「スーパーオートバックス・高松中央」新規オープン～タイヤの豊富な品揃えによりあらゆるお客様のニーズに対応～
- 「四輪車ETC車載器新規導入助成」受付及び「ETCらくらく支払いプラン」サービス開始～全国512店舗にて助成受付 金利手数料の負担なしで支払いできるプランの導入～
- 「オートバックス草加店(埼玉県川口市)」新規オープン～埼玉県内オートバックスグループ店舗27店舗～
- 「オートバックス・蔵王店(広島県福山市)」移転新築オープン～広島県内オートバックスグループ店舗9店舗～
- 『車検200万台突破サンクスキャンペーン』実施～抽選で毎月200名様にQUOカードプレゼント～
- 子会社の合併に関するお知らせ
- 子会社設立及び店舗譲渡、子会社の解散及び清算に関するお知らせ
- オートバックスグループ限定商品を含めた、おすすめ洗車用品を特別価格にて販売「洗車の日」特別企画実施～4月28日の「洗車の日」に向け当社グループ店舗にて実施～
- オートバックス プライベートブランドバッテリー 再値下げのご案内～ナショナルブランド商品についても最大8,100円値下げ～

2 FEB 組織変更と人事異動のお知らせ

当社は2月26日に中期経営計画の方針の一つである「国内FC事業強化」のための施策の一つとして組織変更と人事異動を決定しました。

組織変更においては、「チェン本部」と「チェン企画室」を新設し、国内FC事業に集中するための体制を強化しました。

「チェン本部」は、オートバックスチェン事業の全てを統括する役割を担い、代表取締役 社長執行役員の湧田がチェン本部長に就任しました。「チェン企画室」は販売促進を含めた、オートバックスチェン事業の戦略企画を推進する役割を担っています。

新組織のもと、中期経営計画を推進し、企業価値の向上に努めています。

●ニュースリリース
http://www.autobacs.co.jp/ja/news/news.php?id=1191

2 FEB 「2009 SUPER GT SERIES」に特別協賛

当社は、自動車にかかわる企業としてモータースポーツファンに楽しんでいただける場所を提供することを目的として昨年に引き続き、国内でもっとも人気のあるレース「SUPER GT SERIES」に特別協賛することを決定しました。

特別協賛を行うことで、モータースポーツ活動の活性化及び自動車関連マーケット全体の活性化を目指します。

オートバックスグループにおいては、昨年に引き続き、各レース会場にてARTA（AUTOBACS RACING TEAM AGURI）応援団席企画を実施するとともに、グランドスタンド裏などに「ARTAブース」を設け、ARTAドライバーやARTA GALSのトークショーや撮影会をはじめ、ARTAオリジナルグッズの販売などを行います。

今号の巻末にて次回8月のレースの観戦券プレゼント企画も行っておりますのでぜひご覧ください。

●ニュースリリース
http://www.autobacs.co.jp/ja/news/news.php?id=1199

3 MAR 「四輪車ETC車載器新規導入助成」受付及び「ETCらくらく支払いプラン」サービス開始

当社は、四輪車ETC車載器新規導入助成のスタート日である3月12日(木)からグループ店舗にて助成受付を開始※するとともに、独自の支払いプラン「ETCらくらく支払いプラン」を導入しました。

今回の「四輪車ETC車載器新規導入助成」を受けるための条件の一つに、『ETC車載器新規導入に係る費用を2年以上の契約期間かつ、2回以上の分割又はリース契約にて支払う』というものがありました。

そこで、当社ではお客様の様々な支払方法のニーズにおこたえするため、助成を受ける条件を満たしながらも、様々な支払方法でお支払いただけるプランを導入し、多数のお客様にご好評を頂きました。

※四輪車ETC車載器新規導入助成は上限台数に達したため終了しました。詳細は財団法人高速道路交流推進財団のホームページをご覧ください。http://www.highway.or.jp/

●ニュースリリース
http://www.autobacs.co.jp/ja/news/news.php?id=1204

オートバックスグループ新店紹介

オートバックス 東戸塚

「オートバックス東戸塚」
改装新築オープン 2009年3月6日(金)

〒244-0801 神奈川県横浜市戸塚区品濃町545番地3
TEL: 045-824-8931

スーパーオートバックス・高松中央

「スーパーオートバックス・高松中央」
新規オープン 2009年3月5日(木)

〒761-0312 香川県高松市東山崎町662-1
TEL: 087-840-7211

オートバックス 草加店

「オートバックス草加店」
新規オープン 2009年3月13日(金)

〒334-0056 埼玉県川口市大字峯521-1
TEL: 048-291-4811

オートバックス・蔵王店

「オートバックス・蔵王店」
移転新築オープン 2009年3月19日(木)

〒721-0973 広島県福山市南蔵王町6丁目1番1号
TEL: 084-943-4531

店舗情報はこちら→http://www.autobacs.com
トップページより店舗検索ボタンをクリックし店舗を検索してください

知らなきゃ損!

オートバックス お役立ちピット メニュー紹介

オートバックスグループでは、
愛車の調子を良くしたり、長持ちさせるためのものから、
愛車を美しく保つものまで数多くの
ピットメニューをご用意しております。
今号よりこのコーナーでは、
特に好評のピットメニューをご紹介していきます。

消耗品交換

消耗品の中でも、クルマを安全に運転する上で、何か異変があればすぐに交換すべきものがあります。オートバックスグループではクルマを安全に安心して運転していただくために様々なメニューをご用意しています。

ガラスリペア

飛び石などによる、フロントガラスのキズを補修します。

そのまま放置しておくとキズはどんどん広がり、危険です。また車検にも通りませんのですぐに修理されることをおすすめします。

1ヵ所21,000円(税込)〜

定期点検

安全なドライブをするためには、車のコンディションをベストに保つことが大切です。1年に1度、車の定期点検をおすすめいたします。

価格は各店舗にお問合せください。

ガラス交換

修理できないレベルのガラスの破損の場合、ガラスごと交換いたします。

価格は各店舗にお問合せください。

※ メニューによっては、お申し付けいただけない店舗がございます。
※ 価格はあくまでも最低作業価格の目安です。詳細につきましては、お近くの店舗まで、直接お問合せください。

ブレーキパッド交換

ブレーキを踏むとキーキー音がする、という症状が現れたら要注意です。交換の目安は3万～4万km走行ごと、または残り3mmです。

1ヵ所3,150円(税込)～

エンジンオイル交換

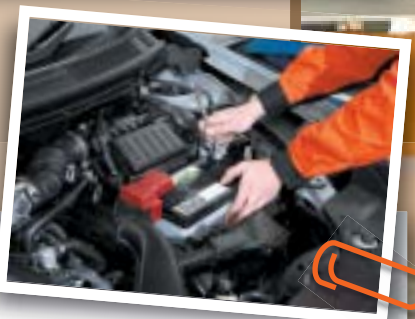
エンジンの保護や車を長持ちさせるためにエンジンオイル交換をおすすめします。

おクルマの使用状況によって異なりますが、3,000kmごと、または3ヵ月～6ヵ月に1回が交換の目安です。

低燃費車やハイブリッドカーのオイル交換にも対応しています。※

※車種によっては交換できない場合があります。

525円(税込)～



バッテリー交換

エンジンがかかりにくいなどの兆候があればすぐに交換されることをおすすめします。店舗にて無料チェックも実施しております。2～3年ごとの点検･交換がおすすめです。

ハイブリッドカーの電装用バッテリーの交換にも対応しています。※

※車種によっては交換できない場合があります。

525円(税込)～

ファンベルト交換

エンジンの回転を伝える大切なベルトがファンベルトです。切れてしまってからでは手遅れなので、定期的に点検し、キズやひび割れなどがあるときはすぐに交換しましょう。

価格は各店舗にお問合せください。

カー用品調査団

このコーナーでは、近年登場したカー用品の中でも特に人気がある商品の特徴などをご紹介します。今後のカー用品のお買い物の際にぜひお役立てください。

第1回はポータブルナビゲーションを調査します!

ポータブルナビゲーション

数年前に登場してから、低価格、持ち運びの便利さ、機能の充実などから人気が急上昇しているポータブルナビゲーション。

従来の据え置き型カーナビゲーションと比較して機能はどのように違うのか、また、どのような特徴があるのかを調査しました。

特徴

- 簡単に取り外して使えるため、2台以上の車で使用できる
- ワンセグテレビを見ることができる※
- 取り外して、自宅や旅行先などでテレビとして使用できる※
- カーナビゲーションの基本である道案内機能は十分なレベル
- 低価格(4万円前後から)

※ワンセグチューナーの搭載は機種によって異なります

手軽に持ち運びができ、道案内機能が十分なレベルで、さらに低価格というのが人気の秘密のようです。

では、従来の据え置き型カーナビゲーションとポータブルナビゲーションはどのような用途で選ぶと良いのか調査しました。

ポータブルナビゲーション

据え置き型ナビゲーション

取り外して複数の車で使いたい	→	ポータブルナビゲーション
低価格で道案内の機能があれば良い	→	ポータブルナビゲーション
カーオーディオとしても使い、車内でDVDの視聴なども楽しみたい	→	据え置き型カーナビゲーション
さらに本格的なオーディオを楽しみたい	→	据え置き型カーナビゲーション上位機種
フルセグできれいな画像のテレビを見たい	→	据え置き型カーナビゲーション

いかがでしたか？ ポータブルナビゲーションと据え置き型カーナビゲーションの違いについてお分かりいただけましたでしょうか。どちらが優れているという訳ではなく、使用される方の用途で選ぶことが大事ですね。

商品についてはお気軽に近隣のオートバックスグループ店舗にお問合せください。

会社情報 2009年3月31日現在

商　号

株式会社オートバックスセブン
（AUTOBACS SEVEN CO., LTD.）

創　業

1947年2月

資本金

339億9千8百万円

主な事業内容

当社は、各種自動車用品部品の委託製作、販売、輸出入を主要事業として、小売総合専門店を直営店とフランチャイズ店で並行して国内外にチェン展開しております。

主要な事業所

本社	（東京都江東区）
北日本エリア事業部	（宮城県仙台市）
関東エリア事業部	（千葉県市川市）
中部エリア事業部	（愛知県名古屋市）
関西エリア事業部	（大阪府吹田市）
南日本エリア事業部	（福岡県福岡市）

オートバックスグループ国内店舗数
（2009年6月1日現在）

オートバックス	397店舗
スーパーオートバックス	77店舗
オートハローズ	8店舗
走り屋天国セコハン市場	29店舗
オートバックスエクスプレス	6店舗

役員一覧（2009年6月25日現在）

取締役

代表取締役

湧田　節夫

取締役

経森　康弘
井手　秀博
中田　康雄※1
宮内　英樹※1
森本　弘徳
田村　達也※1
服部　範雄※1
松村　晃行

監査役

野上　明	常勤監査役
森野孝太郎※2	常勤監査役
住野　泰士	常勤監査役
田邊　健介※2	監査役
池永　朝昭※2	監査役

執行役員

湧田　節夫	社長執行役員　チェン本部長
経森　康弘	副社長執行役員　システム･総務統括 兼 海外事業統括 兼 車販売事業統括
井手　秀博	常務執行役員　経理･財務統括 兼 経理･財務担当
森本　弘徳	常務執行役員　チェン戦略統括
松村　晃行	上席執行役員　関東エリア事業部長
住野　耕三	上席執行役員　商品統括
上西園　英司	上席執行役員　人事･総務担当
伊藤　浩明	執行役員　北日本エリア事業部長
戸出　譲	執行役員　中部エリア事業部長
小林　喜夫巳	執行役員　関西エリア事業部長
加藤　哲也	執行役員　南日本エリア事業部長
藤原　伸一	執行役員　チェン戦略担当 兼 チェン企画室長
熊倉　栄一	執行役員　カー用品事業担当
角倉　正親	執行役員　車検整備事業担当
榧　宏介	執行役員　C@RS事業担当
江本　吉弘	執行役員　海外事業担当
小平　智志	執行役員　内部統制担当
吉山　弘樹	執行役員　経営企画担当 兼 経営企画室長
平田　功	執行役員　情報システム担当 兼 情報システム部長

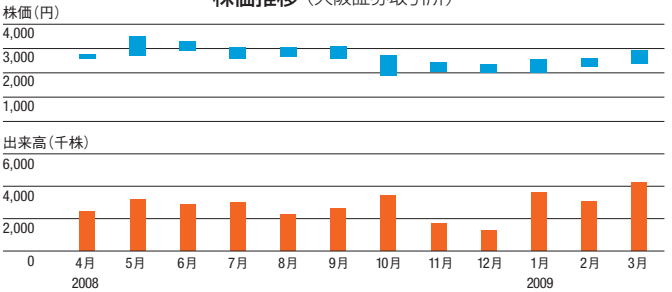
※1　会社法第2条第15号に定める社外取締役
※2　会社法第2条第16号に定める社外監査役

株式情報 2009年3月31日現在

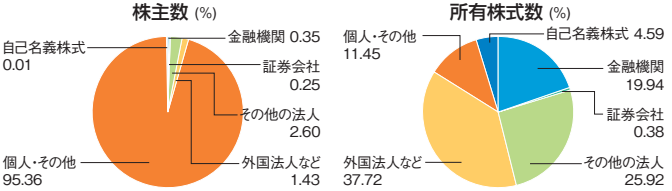
発行する株式の総数	109,402,300株
発行済株式の総数	39,255,175株
株主数	11,859名
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当金　毎年3月31日 中間配当金　毎年9月30日 なお臨時に必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社　証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社　証券代行部
電話照会先	0120-176-417
インターネット	ホームページURL http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
大株主一覧	いちごアセットトラスト 有限会社スミノホールディングス 日本トラスティ･サービス信託銀行株式会社(信託口) 日本トラスティ･サービス信託銀行株式会社(信託口4G) ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント シルチェスター インターナショナル インベスターズ インターナショナル バリュー エクイティ トラスト 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 財団法人在宅医療助成勇美記念財団 ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフシー) リ ユーエス タックス イグザンプト ペンション ファンド 株式会社スミショウホールディングス

注)1. 当社は自己株式1,800千株(所有割合4.59%)を保有していますが、当該自己株式は議決権の行使が制限されているため、上記の大株主から除いています(2009年3月31日現在)。また、2009年5月22日に、上記自己株式1,800千株を消却いたしました。それにより、発行済株式の総数は37,454,204株となりました。
2. 上記以外の名義書換のなされていない株主については、有価証券報告書をご覧ください。

株価推移(大阪証券取引所)



所有者別状況(2009年3月31日現在)



住所変更の手続きについて

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛てにお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先にお願いいたします。

株主優待制度について

『オートバックス』、『スーパーオートバックス』などで、1,000円(消費税込み)のお買い上げ毎に1枚ご利用いただける株主優待券(300円値引)を、3月末日(6月発送)と9月末日(12月発送)の年2回、株主名簿に記載されている、単元株式数以上を所有する株主の皆さまにお送りしています。

〔ご参考〕

1. 配布枚数(半期毎):所有株式数　100株～999株　ご優待券25枚
   1,000株～　ご優待券50枚
2. ご優待券は商品券･他の値引(買物券、クーポン券、値引券等)を併用の場合、値引き後の金額に対してご利用いただけます。
3. ご優待券は日本国内のオートバックス、スーパーオートバックス、オートバックス走り屋天国セコハン市場、オートバックスエクスプレス、オートハローズ及びテクノキューブの全店舗でご利用いただけます。ただし、オートバックスC@RS、海外店舗ではご利用いただけません。
4. ご優待券は燃料、車両、廃タイヤ処分料、保険、税金、飲食、タバコなどにはご利用いただけません。
   ※ 車検につきましては、重量税、印紙代、自賠責保険料、リサイクル料にはご利用いただけません。車検基本料、検査手続き代行料、完成検査料、その他整備工賃、部品代にはご利用いただけます(手続き費用は、一部店舗によって名称が異なります)。

“2009 AUTOBACS SUPER GT Round 6”

観戦チケットを抽選でペア5組10名様にプレゼント!!

「SUPER GT」は「全日本GT選手権」として1994年に発足以来、年々人気が高まり、国内で最大の観客動員数を誇る人気No.1のレースとなりました。当社は大会冠スポンサーとして協賛し、モータースポーツの楽しさや感動を多くの方々に伝えています。また、それを通じて自動車関連マーケット全体の活性化を目指しています。

この度、「SUPER GT」シリーズの中でも伝統ある耐久レースにペアで5組10名様をご招待いたします。

開催概要

大会名称： AUTOBACS SUPER GT Round 6

開催会場： 鈴鹿サーキット

開催日程： 2009年8月22日(土)予選・8月23日(日)決勝

応募要項

官製はがきに下記①～⑥を明記の上、宛先住所までご送付ください。なお、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。（ご応募いただいた方の個人情報を本プレゼント企画の連絡以外の目的で使用することはございません。）

①氏名 ②郵便番号／住所 ③電話番号 ④年齢 ⑤今、一番当社に対して興味のあること(例:株価、業績、配当、中期経営計画など) ⑥その他ご要望など

宛　先

〒135-8717
東京都江東区豊洲5-6-52　NBF豊洲キャナルフロント
オートバックスセブン 広報IRグループ
「株主通信 GTチケットプレゼント」係

応募締め切り

2009年7月31日(当日消印有効)

AUTOBACS SEVEN CO., LTD.
株式会社オートバックスセブン
東京都江東区豊洲5-6-52　NBF豊洲キャナルフロント 〒135-8717

PRINTED WITH SOY INK

ミックス品
FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. SGS-COC-003692
© 1996 Forest Stewardship Council

この株主通信は、適切に管理された森林を使用したFSC認証紙に、大豆油インキで印刷しています。

お問い合せ先

•IR情報に関するお問い合せ先
経営企画室　広報IRグループ
電話:03-6219-8718　e-mail:investors@autobacs.com

•住所変更等、株式事務に関するお問い合せ先
住友信託銀行株式会社　証券代行部
電話照会先 0120-176-417

※詳細は14ページをご確認ください。